

活用のある自立語

活用のある↓言葉の形が変わること

自立語↓それだけで文節を作れる語のこと

○動詞：動作、作用、存在を表す。言い切りの形は「ウ段」

↓次の四種類がある

(1)他動詞↓「何を」という対象を必要とする動詞。

例 水を出す。

(2)自動詞↓「何を」という対象を必要としない動詞。

例 水が出る。

(3)可能動詞↓「〜できる」の意味を表す。

例 走れる 行ける 書ける

(4) 形式動詞↓動詞本来の実質的な意味が薄れ、上の言葉を補助することば(補助語)として用いるもの。

例 話を聞いてみる(形式動詞)

写真を見る(普通の動詞)

形式動詞の特徴

- ・ひらがなで書かれていて、無くても文の意味が通じる
- ・「て、で」のあとについていることが多い

活用の種類

↓動詞の言い切りの形に「ない」を付けて見分ける

- ・五段活用↓「ない」の直前がア段の音になる

例 行く+ない⇓行かない

- ・上一段活用↓「ない」の直前がイ段の音になる

例 見る+ない⇓見ない

・下一段活用↓「ない」の直前がエ段の音になる

例 出る＋ない⇓出ない

・カ行変格活用↓「来る」のみ

・サ行変格活用↓「する」と「ゝする」という形の複合動詞

例 勉強する

動詞の活用形

↓活用語尾を覚える

未然 / 連用 / 終止 /

ない、う、よう / ます、た、だ / 。

連体 / 仮定 / 命令

こと / ば / ！

○形容詞：形質、状態を表す。言い切りの形は「〜い」

・形式形容詞↓形式動詞と同様に、上の言葉を補助する。

「ない」「ほしい」のみを覚えておけばよい

例 楽しくない(形式形容詞)

お金がない(形容詞)

見分けるポイント

「ない」の直前に「は」を入れて意味が通れば形式形容詞

形容詞の活用形

↓動詞同様に活用語尾を覚える

かる／かつ、く、う／い／い／けれ

○形容動詞：形容詞同様に形質、状態を表す。言い切りの形

は「〜だ」

形容動詞の活用形

↓活用語尾を覚える

だろ／だっ、で、に／だ／な／なら